

「ビッグデータ時代に 改めて記述疫学データを考える」

記述疫学データは、行政においては保健医療施策の策定、医療業界においては開発、マーケティングに重要なものですが、それらデータを得るには多くの困難があります。我が国では長い歴史を持つ官庁統計データが存在していますが、質、量ともに上記の目的を十分に果たしているとは言えません。一方でNDBの開発や大規模コホート調査の増加、その他にも様々な手段でビッグデータ或いはリアルワールドデータと言われる記述疫学データが増えつつあります。今回の講演会では、増えつつある記述疫学データをどのように行政や企業政策に生かしていくのか、その可能性と課題を論じたいと思います。

開催日 2020年5月9日(土) 14:00～17:15 (開場13:30)

会場 浜松町コンベンションホール 大ホール
(東京都港区浜松町二丁目3番1号)

講演内容

開会挨拶 佐藤 敏彦 (青山学院大学大学院 特任教授/RIHDS理事長)

講演1: 「現状分析の重要性－課題を正しく設定するために－」

福島 靖正 先生 (国立保健医療科学院 院長)

問題とは何でしょうか。問題とは現状と理想のギャップと言われます。しかし、われわれは本当に現実を正しく把握できているのでしょうか。そして、現実を正しく把握できていたとしても、正しく認識できているのでしょうか。行政が保有する保健医療に係る既存データで何が分かるのか、今後どのようなデータがあれば、より適切に問題設定できるのかについて、皆さんと一緒に考えたいと思います。

講演2: 「公的統計等データの高次活用とその統計的課題」

村上 義孝 先生 (東邦大学医学部教授 社会医学講座医療統計学分野)

データ駆動型社会の実現に向けて、公的統計等の既存データ活用の議論や実践があらゆる分野で進展している。以前は「目的外使用」の中でのみ利用可能であった公的統計データも、統計法改正により(条件が整えば)容易に利用可能な環境下にある。これらデータの解析が容易となったいま、元となる調査の目的・方法は何か?、データのもつバイアス、データのもつ限界に対する理解、などの統計的な問いの重要性は増している。

講演3: 「ナショナル・データベース(NDB):

最大ではあるが最強ではないヘルスデータ」

野田 龍也 先生 (奈良県立医科大学講師 公衆衛生学)

我が国の人口は2020年時点で世界10位であり、医療保険の国民皆保険を達成した国としては最大の人口を擁している。つまり、我が国には世界最大級の医療受診データが存在し、それを国が整備したレセプトデータが「レセプト情報・特定健診等情報データベース」(NDB)である。NDBはその巨大さのために魔法の杖と誤解されがちであるが、最大と最強は異なり、扱うことができない課題も多い。NDBの特性を踏まえつつ、NDBでできること、できないこと、将来できそうなことを解説する。

講演4: 「保健・医療・福祉分野における

データ分析とシミュレーション技術の活用」

市川 学 先生 (芝浦工業大学システム理工学部准教授)

医療・保健・福祉の領域において、オープンに取り扱われるデータが近年は増えてきており、新しい知見を得られる可能性が存在する。本講演では、これらのデータと情報工学の技術を活用することで展開される研究内容について、演者のこれまでの取り組みを踏まえて情報提供を行う。

座談会(福島先生、村上先生、野田先生、市川先生)

座長 佐藤敏彦 (青山学院大学大学院 特任教授/RIHDS理事長)

第2回研究助成金事業採択者 研究成果または進捗発表

第3回研究助成金事業採択者 研究計画発表

プログラム

※時間は変更となる場合がございます

14:00	開会挨拶 佐藤 敏彦 (青山学院大学大学院 特任教授/RIHDS理事長)
14:05	講演1: 「現状分析の重要性－課題を正しく設定するために－」 福島 靖正 先生 (国立保健医療科学院 院長)
14:35	講演2: 「公的統計等データの高次活用とその統計的課題」 村上 義孝 先生 (東邦大学医学部教授 社会医学講座医療統計学分野)
15:05	講演3: 「ナショナル・データベース (NDB): 最大ではあるが最強ではないヘルスデータ」 野田 龍也 先生 (奈良県立医科大学講師 公衆衛生学)
15:35	休憩 (10分)
15:45	講演4: 「保健・医療・福祉分野におけるデータ分析とシミュレーション技術の活用」 市川 学先生 (芝浦工業大学 システム理工学部准教授)
16:20	座談会 (福島先生、村上先生、野田先生、市川先生) 座長 佐藤敏彦
16:50	第2回研究助成金事業採択者 研究成果または進捗発表
17:00	第3回研究助成金事業採択者 研究計画発表
17:15	閉演

申込方法 参加者140名まで (先着順)

企業名、部署名、お名前、電話番号をご記入のうえ、以下のメールアドレスまでお申し込みください。(※代表でお申し込みされる方は、ご参加される方全員について記載をお願いいたします。)

お申込みメールアドレス

rihds@jmdc.co.jp

応募締切: **2020年5月1日 (金)**

会費

一般: 7,000円 会員: 3,000円 学生: 2,000円

学生の方は受付で学生証の提示をお願いいたします。

お持ち物

お名刺 2枚 (ネームプレート用と当研究所控え用)

《ご注意》

- 定員を超えた場合は、お断りすることがございます。予めご了承ください。
- キャンセルの場合は研究所事務局へメール(rihds@jmdc.co.jp)にて、ご連絡ください。
- お預かりした個人情報、講演会参加の受付、講演会当日の出席確認、および研究所事業に関する情報・サービス提供のための郵便物、電話、電子メール等に利用する場合があります。

会場への交通アクセス



【会場へのアクセス】

都営大江戸線・浅草線大門駅B5出口直結
JR山手線・京浜東北線浜松町駅北口徒歩2分

お問合せ先: (一社)ヘルスケア・データサイエンス研究所事務局 (担当: 植村)

電話: 03-5733-5010

メール: rihds@jmdc.co.jp



社会に役立つ研究と実践を目指す